

平成 20 年 3 月 12 日

## 埼玉県内の医療機関等におけるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の 多施設共同研究進捗報告

### 研究目的

- 埼玉県下の医療機関等に入院（所）中の患者等における VRE 保菌率を明らかにする。
- VRE 保菌検査のための効果的なスクリーニング用検体採取方法を検討する。
- 我が国における VRE 保菌に関する危険因子を明らかにする

### 研究期間

平成 20 年 2 月 4 日～3 月 28 日

### 対象および検査・調査方法

- 本調査研究は、国立感染症研究所の医学研究倫理審査委員会で承認された方法に従って実施される。
- 埼玉県下の医療機関等に対し、調査研究への協力を依頼し、同意の得られた施設を対象とする。
- 研究に参加した病院の調査対象週の月曜日朝の時点で入院している全入院患者を対象とし、研究の目的や意義などを説明し、同意が得られた患者から便検体を採取。
- 便検体からの一次スクリーニングは、VRE の検出技術を有する、適切な検査所に依頼して実施。
- 一次スクリーニング検査では、医療機関毎に定めた、調査対象週内に便検体（便塊一回および直腸綿棒 3 回）を採取し、直接塗布法と増菌培養後に塗布する方法とについて感度、特異度などを比較検討する。
- VRE が疑われる菌株については国立感染症研究所および協力機関において詳細な遺伝子型などの確認、分子疫学的な検討などを行う。
- VRE が多数の患者より分離された場合は、症例対照研究によって VRE 保菌に関する危険因子を明らかにする。

### 進捗状況

- 13 施設において一次スクリーニング検査が進行中

国立感染症研究所細菌第二部  
荒川宜親